地域おこし協力隊
活動レポート

協力隊が行く！

今月の担当は おおはし隊員です！

こんにちは、地域おこし協力隊の大橋佑輔です。

今回は、先日参加したAIに関するセミナーで、SoftBankの孫さんの講演に衝撃を受けたので、僕なりの理解も踏まえながら10年後の未来をテーマに皆さんと考えられたらと思います。

10年前の世界

10年後の未来を考える前に、一度10年前の世界を振り返ってみましょう。2013年は東京オリンピックが決まった年でもあります。このときにはまさか史上初のオリンピック開催延期となるとはこの時誰が想像したでしょうか。技術的には2011年にリリースされたLINEが1億ユーザーを突破した年で、ドコモが「iPhone5S」を発売し、携帯大手3社が全て「iPhone」を発売した年でした。

2023年の世界

新型コロナウイルス感染症や、昨年から続く戦争の影響で、10年前と比べて世の中は大きく変わりました。

技術的な面では「ChatGPT」でしょう。AIが実生活で利用できるようになった点で画期的だと思います。それを表すかのように、月間ユーザーが1億人を突破するまでの期間は史上最速の2カ月で、またその性能も既に医師免許に合格するレベルにあると言われています。

2033年の世界

さて、10年後の世界です。コロナがどうなっているか、戦争がどうなっているか、社会情勢は想像もつきません。一方で予測がつくこともあります。それは技術、AIの発展です。ここで冒頭の孫さんの話が出てくるのですが、孫さん曰く2033年にはAIの知能は一人の人間の10倍ほどになり、その性能ともにAIは人々の生活に当たり前に使われている、というものでした。本当にそうなの!?と疑いたくなりますが、スマホが新しく出てきた時、ボタンがなくディスプレイだけの異形の形をしており普及しないのでは、と言われていましたが、いまや世界で当たり前のように使われています。それと同じように、誰もが「ChatGPT」をはじめAIを現在のスマホのように当たり前に使う世界が来るのではないでしょうか。

さて、孫さんが「現在、ChatGPTを日々の仕事で使ってない人はヤバいと思ってください」ということを言っていました。AIの方が人間よりずっと賢い時代に我々が何をすればいいのか？その本質を考える時期が来ています。ふと考えれば車は我々の10倍以上速く走れますし、ロボットも我々の10倍以上のものを持ち上げられます。そう考えると物理的には人間を超えるものはいくらでもあり、それの知能版がAIなのだと思います。

日本・地域では人口減少、少子高齢化による課題は山積です。人間の知能を遥かに凌ぐ知能を持つAIを用いた持続可能な社会を考え、実現していく時代に入ったのかもしれません。そんな時代を見据えて一人一人が何を大事にして、どのように振る舞うのか、既に試されているのかもしれません。

市長コラム vol.55

八つの言葉

「おはよう、おやすみ。いただきます、ごちそうさま。行ってきます、ただいま。ありがとう、ごめんなさい。この八つの言葉が言えれば、集団生活は円滑にいきます。これだけは常に口にしてください」

夏に、久しぶりに小説を読んでいて出会ったこの文章に、はっとしました。そして、共感しました。先月のコラムで「挨拶」に触れました。この八つの言葉も「挨拶」と言えるものです。集団生活の中で、どんなことがあっても挨拶だけはするということになっていると、互いにわだかまりが生じていてもいつの間にか解消していることが少なくない、とその小説の中でも書かれています。常に「おはよう」や「おやすみ」を言っている相手に、いつまでも腹を立て続けることはできません。「いただきます」「ごちそうさま」は食べ物を大切にする気持ちを伝える言葉ですし、「行ってきます」と「ただいま」はその言葉のトーンで、外での様子もうかがえるありがたい言葉です。また「ありがとう」と「ごめんなさい」をしっかりと使っていくことは、社会生活の中でもとても大切です。

この小学生に教えるようなことを、私は9月1日の市制施行記念日の職員訓示で話しました。これは、家庭でも、職場でも、自分以外の人と一緒に生活するさまざまな空間で、そこの空気を整える効果があると思います。そこにいる大人も子どもも、上司も部下も、先輩も後輩も、男性も女性も、みんながこの八つの言葉を使うことでそこの空気は浄化されます。

現代は、ストレス社会です。さまざまなストレスの中で私たちは暮らしています。ストレスに向き合う一つの解決策としても、この八つの言葉が自分のお守りになるのではないでしょうか。

パワーリフティングの選手を紹介！

燃ゆる感動 かごしま国体

特別国民体育大会

熱い鼓動 風は南から

2023

パワーリフティング黒瀬俊介さん59キログラム級の頂点へ!!

9月22日から24日までの3日間、知名町の「文化ホールあしびの郷・ちな」で開催されたかごしま国体公開競技パワーリフティング男子59キログラム級において、本市から出場した黒瀬俊介さんが優勝しました。

また、上位5人の合計得点で競う都道府県団体戦でも、黒瀬さんを含む2人が優勝した鹿児島県が優勝しました。

10月2日、本市から出場した黒瀬さんと味園修さん（男子83キログラム級）の2人が前田市長を表敬し、結果の報告と大会の様子を話してくれました。

パワーリフティングは、スクワット、ベンチプレス、デッドリフトの3種目で重量を競い合い、そのトータル重量で順位を決定します。

3種目中、**スクワットとデッドリフトの2種目で自己ベストの重量を挙げ優勝**した黒瀬さんですが、逆転されるのではとヒヤッとした瞬間もあったといいます。各種目3回の試技を行いますが、挙げる重量を選択する際は、他の選手の調子を見極めつつ、共に出場した味園さんと作戦を立てながら試技に臨み、見事頂点に輝きました。

力を競う競技ではありますが、実は気持ちの変化が大きく左右するパワーリフティング。今大会の優勝へ向けて支えてくれた家族に、いい報告ができて嬉しいと話しました。

両選手の今後の更なる活躍を期待しています！

デッドリフトで195kgを挙げる味園さん

スクワットで自己ベストの重量に挑む黒瀬さん

■問合せ　スポーツ・文化振興課（総合体育館内）
TEL76-6151

スポーツ・文化イベント情報

南溟館

開 9:00 ～ 17:00
※入館は16：30まで

休 毎週月曜日
※月曜日が祝祭日の場合は翌日

問 スポーツ・文化振興課
TEL72-9998

大相撲立行司 三十六代 木村庄之助 メモリアル展

昨年11月23日に逝去された本市出身の大相撲立行司三十六代木村庄之助（山﨑敏廣氏）の相撲装束や軍配、番付表など貴重な資料の数々を展示します。ぜひご来場ください。

●**会期**　11月21日（火）～26日（日）
●**観覧料**　無料

風のコンサート

ソプラノ歌手・白澤玲子氏のほか国内外で活躍している音楽家によるコンサートを開催します。ぜひご来場ください。

●**日時**　11月26日（日）午後1時30分開演
●**会場**　南溟館（第2展示場）
●**入場料**　1,000円
●**出演者**
白澤玲子（ソプラノ）、包金鐘（テノール）、長田新太郎（ヴァイオリン）、永井ちあき（ピアノ）、原之園千鶴（ピアノ）、WUサックス組

ART ORIGINATION 2023

鹿児島県内外で多種多様な視点で日々創作活動に取り組んでいる本県ゆかりのアーティストによる展覧会を開催します。募集形式で選ばれた5名のアーティストの作品をお楽しみください。

●**日時**　11月30日（木）～12月24日（日）
※月曜日休館
●**観覧料**　一般200円、高校・大学生100円、中学生以下無料
●**出品作家**　清水 香、純浦 彩、田中 千紘、中村 孝太郎、森島 里香

道路で動物の死骸を見かけたら市役所までご連絡ください　TEL76-1097